

M-AUDIO®

CODE49

CODE61

ユーザ・ガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源ブラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://numark.co.jp/m-audio/>

M-AUDIO® <お問い合わせ>

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

はじめに

同梱品

- ・ Code 49/61
- ・ USB ケーブル
- ・ Software Download Cards (英文)
- ・ Quickstart Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

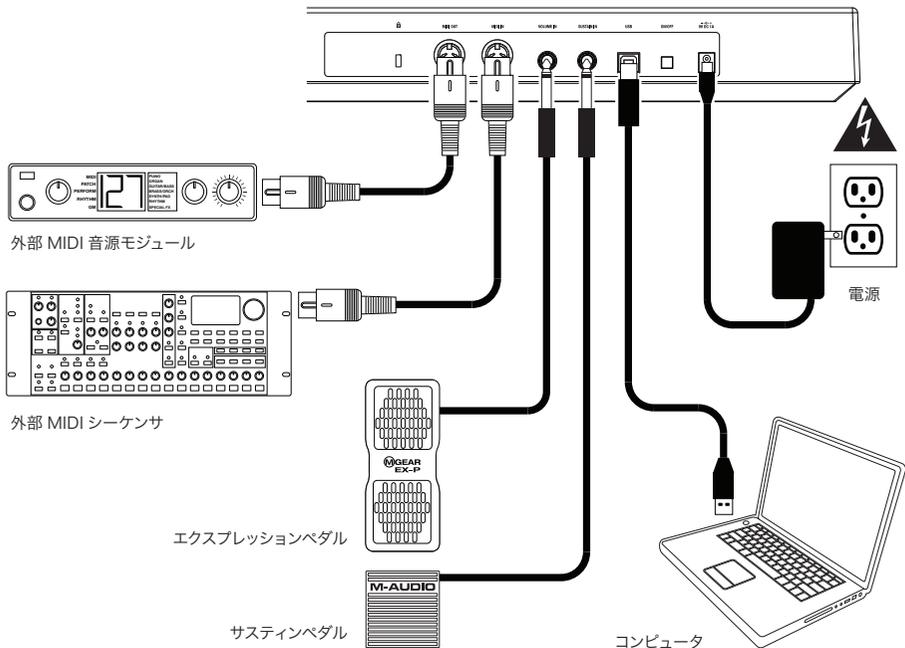
サポート

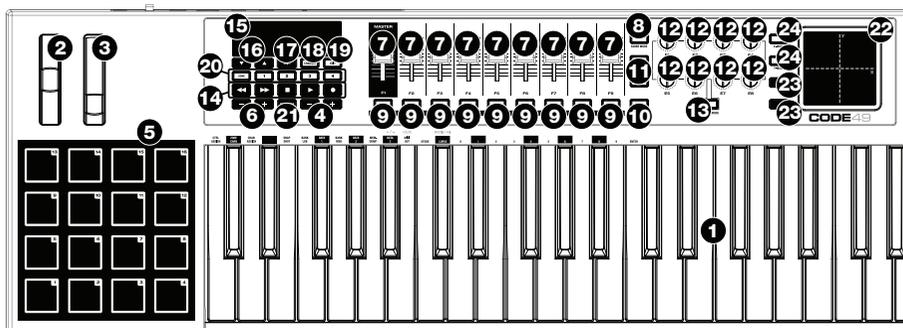
製品の最新情報（システム要件や互換性情報など）は、M-Audio のホームページ (inmusicbrands.jp/m-audio/) にてご確認ください。また、製品のサポートについては、inmusicbrands.jp/m-audio/support をご参照ください。

クイックスタート/接続例

お使いのソフトウェアで **Code 49/61** を使用するには、ソフトウェアの **Preferences**（初期設定）、**デバイス設定**などの画面で、MIDI コントローラとして設定する必要があります。

また、**はじめに** > **同梱品** のリストにないものは別売です。





1. **キーボード**：ペロシティおよびアフタータッチに対応し、**KEY OCTAVE +/-**ボタンを使用して10オクターブにアクセスできます。
2. **ピッチバンド・ホイール**：このホイールで、MIDI ピッチバンド情報を送信します。他のMIDI情報をアサインすることも可能です。詳しくは、**操作 > ホイール > アサインの編集**を参照してください。
3. **モジュレーション・ホイール**：このホイールで、MIDI CC #01（モジュレーション情報）を送信します。他のMIDI情報をアサインすることも可能です。詳しくは、**操作 > ホイール > アサインの編集**を参照してください。
4. **KEY OCTAVE +/-**：これらのボタンで、キーボード部分のオクターブを上下にシフトします。また、**TRANPOSE** ボタンを押しながらこれらのボタンを押すと、キーボード部分を半音ずつ上下にシフト（トランスポーズ）することができます。
5. **パッド**：これらのパッドで、ソフトウェアや外部MIDI音源モジュールのサンプルをトリガできます。これらのパッドは、ペロシティ対応で反応が速く、直感的なプレイが可能です。また、他のMIDI情報をアサインすることもできます。詳しくは、**操作 > パッド > アサインの編集**を参照してください。
6. **PAD OCTAVE +/-**：これらのボタンで、パッド全体のオクターブを上下にシフトします。また、**TRANPOSE** ボタンを押しながらこれらのボタンを押すと、パッド全体を半音ずつ上下にシフト（トランスポーズ）することができます。
7. **フェーダ (F1~F9)**：これらのフェーダで、ソフトウェアや外部MIDI音源モジュールにMIDI CCメッセージを送信します。**FADER MODE** ボタンで、モードを切り替えます。また、他のMIDI情報をアサインすることもできます。詳しくは、**操作 > フェーダ > アサインの編集**を参照してください。
8. **FADER MODE**：このボタンを押すことで、以下の通り、**フェーダ (F1~F9)** のモードを切り替え、ボタンの色でモードを表示します。
 - 赤：MIDIモード（初期設定）
 - 緑：Mackie Control/HUIモード
 詳しくは、**操作 > フェーダ > モード**を参照してください。

9. **ボタン (B1～B9)**：これらのボタンで、ソフトウェアや外部 MIDI 音源モジュールに MIDI CC メッセージを送信します。Momentary（ボタンを押した瞬間にオン情報が送出され、離すとオフ情報が送出される）か、Toggle（一度ボタンを押すとオン情報が送出され、次にもう一度押した時にオフ情報が送出される）かを設定できます。また、**BUTTON MODE** ボタンで、モードを切り替えます。

他の MIDI 情報をアサインすることもできます。詳しくは、**操作 > ボタン > アサインの編集**を参照してください。

10. **BUTTON MODE**：このボタンを押すことで、以下の通り、**ボタン (B1～B9)** のモードを切り替え、ボタンの色でモードを表示します。
- 赤：MIDI モード（初期設定）
 - 緑：Mackie Control/HUI モード
 - 黄：HID モード
- 詳しくは、**操作 > ボタン > モードの編集**を参照してください。
11. **BANK◀▶**：これらのボタンで、操作子（フェーダ、ボタン、エンコーダ）のコントロール・バンクを切り替えます。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すことで、特定のモードにある操作子のバンクだけを切り替えることも可能です。
- 赤：MIDI モード（MIDI モードにある操作子のバンクを切り替えます）
 - 緑：Mackie Control/HUI モード（Mackie Control/HUI モードにある操作子のバンクを切り替えます）
 - 黄：HID モード（HID モードにある操作子のバンクを切り替えます）
 - 白：ALL モード（初期設定・すべての操作子のバンクを切り替えます）
- 詳しくは、**操作 > 概要 > コントロール・モード > バンクボタンを使う**を参照してください。
12. **エンコーダ (E1～E8)**：これらの 360°回転ノブで、ソフトウェアや外部 MIDI 音源モジュールに MIDI CC メッセージを送信します。他の MIDI 情報をアサインすることもできます。詳しくは、**操作 > エンコーダ > アサインの編集**を参照してください。
13. **ENCODER MODE**：このボタンで、以下の通り、**エンコーダ (E1～E8)** のモードを切り替え、ボタンの色でモードを表示します。
- 赤：MIDI モード（初期設定）
 - 緑：Mackie Control/HUI モード
- 詳しくは、**操作 > エンコーダ > モード**を参照してください。
14. **トランスポート・コントロール**：これらのボタンで、Mackie Control/HUI のトランスポート・コントロール・コマンドを送信します。
15. **ディスプレイ**：Code 49/61 の現在の操作のパラメータなどを表示します。
16. **プリセット▲▼**：これらのボタンで、プリセットを切り替えます。
17. **SHIFT**：このボタンを押しながら、ボタンや鍵盤を操作することで、それらのサブ機能にアクセスします。
18. **CHANNEL**：このボタンを押すことで、チャンネル・モードに入ります。チャンネル・モードでは、**プリセット▲▼**ボタンで、Code 49/61 のグローバル MIDI チャンネルを変更します。詳しくは、**操作 > 概要 > チャンネル > グローバル・チャンネル**を参照してください。
19. **EDIT**：このボタンを押すことで、エディット・モードに入ります。エディット・モードでは、
- **プリセット▲▼**で、**ディスプレイ**に表示されているパラメータを変更します。
 - キーボード部分にプリントされている追加機能にアクセスできます。
- 詳しくは、**操作 > 概要 > エディット・モード**を参照してください。

20. **ZONE、1~4：ZONE** ボタンを押すことで、ゾーン・モードに入ります。ゾーン・モードでは、キーボードを4つのゾーンに分割（重複可）し、それぞれにMIDIチャンネルが設定できますので、1台のCode 49/61で、複数の音色を同時にプレイすることができます。

ZONE ボタンが点灯している時に、1~4のボタンを押すと、それぞれのゾーンがアクティブになり、そのボタンが点灯します。

また、ZONE ボタンを1秒間長押しすることで、ゾーン・エディット・モードに入ります。1~4のボタンを押して、エディットするゾーンを選びます。

詳しくは、[操作 > 概要 > ゾーン](#)を参照してください。

21. **TRANSPOSE**：このボタンを押しながら、**PAD OCTAVE +/-**ボタンや**KEY OCTAVE +/-**ボタンを押すことで、パッドやキーボードを半音ずつ上下にシフト（トランスポーズ）します。

また、SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、MIDIパニック・メッセージを送信します。ノート情報およびコントロール情報のすべての送信が止まります（Reset All Controllers および All Note Off）。

22. **X/Yパッド**：このタッチパッドで、X軸（横軸）Y軸（縦軸）にそれぞれ別のパラメータをアサインし、それらを同時にコントロールできます。**X-MODE** ボタンと**Y-MODE** ボタンで、モードを切り替えます。詳しくは、[操作 > X/Yパッド > アサインの編集](#)を参照してください。

23. **Xボタン、Yボタン**：これらのボタンで、X軸 Y軸にアサインされているパラメータの最大値をそれぞれ送信します。

エディット・モードで、各軸にアサインするパラメータを割り当てる際に、これらのボタンを押します。

また、HIDモードでは、これらのボタンはマウスの左クリック、右クリックの動作になります。

24. **X-MODE、Y-MODE**：以下の通り、**X/Yパッド**のモードを切り替え、ボタンの色でモードを表示します。

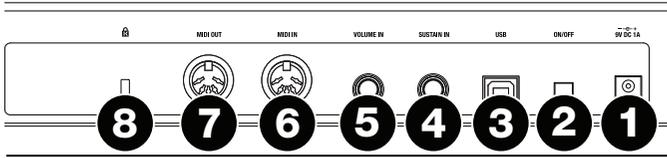
赤：MIDI CCモード（その軸にはMIDI CCがアサインされています）

桃：MIDIノートモード（その軸にはMIDIノートがアサインされています）

黄：HIDモード（X/Yパッドは、マウスやトラックパッドのように使用できます）

詳しくは、[操作 > X/Yパッド > モード](#)を参照してください。

リアパネル



1. **電源端子**：Code 49/61 を、コンピュータを使用せずに MIDI コントローラとして動作させる場合、別売の AC アダプタ (9V DC、1A、センタ+) を接続して電源を供給します。
2. **ON/OFF**：Code 49/61 の電源のオン・オフを行う、電源スイッチです。
3. **USB 端子**：標準的な USB ケーブルを使用して、コンピュータの USB 端子と接続します。この端子で、電源の供給とデータの送受信を行います。
4. **SUSTAIN IN**：1/4" TS ケーブルでサスティンペダルを接続します。他の MIDI 情報を入力することもできます。詳しくは、[操作 > サスティンペダル > アサインの編集](#)を参照してください。
5. **VOLUME IN**：1/4" TRS ケーブルで、エクスプレッションペダルを接続します。他の MIDI 情報を入力することもできます。詳しくは、[操作 > ボリュームペダル > アサインの編集](#)を参照してください。
6. **MIDI IN**：標準的な 5 ピン MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI コントローラなどと接続します。この端子から入力された MIDI 信号は、**USB 端子**経由でコンピュータに送出されます。
7. **MIDI OUT**：標準的な 5 ピン MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI 音源モジュールなどと接続します。
8. **ケンジントン・ロック**：ケンジントン・ロックを使用して Code 49/61 をテーブルなどに固定する際に使用します。

操作

ここでは、Code 49/61 の基本的な機能をご説明します。

概要

この章では、以下の概要について解説します。

- ・ プリセット
- ・ コントロール・モード
- ・ エディット・モード
- ・ ゾーン
- ・ チャンネル

プリセット

Code 49/61 は、各操作子のアサイン、MIDI チャンネル、キーボード・ゾーンなどを、お使いになる DAW やソフトウェア音源、パフォーマンス、セッションごとなどに、12 個のプリセットとして記憶可能です。

詳しくは、プリセットとメモリを参照してください。

プリセットを選択するには、プリセット▲▼ボタンを使用します。現在選択されているプリセット番号はディスプレイに表示されます。

初期状態のプリセットについては、**付録 > プリセット**をご参照ください。

重要：プリセットを保存する前に Code 49/61 の電源をオフにすると、設定したアサインなどはすべて失われます。必要な変更を施した場合は、必ずプリセットを保存しましょう。

プリセットを保存するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. キーボードの **STORE** とプリントされたキーを押します。ディスプレイに **TO** と、最後に選んだプリセット番号が表示されます。
3. キーボードの数字がプリントされたキー（**数字キー**）、または**プリセット▲▼**ボタンで保存する先のプリセットを選びます（**00~12**）。
4. キーボードの **ENTER** とプリントされたキーを押します。これで、現在のセッティングがプリセットとして上書き保存されます。

コントロール・モード

FADER MODE : フェーダ (F1~F9) は、常に二つのモードのどちらかに設定されています。**FADER MODE** ボタンで、以下の通り、この二つのモードを切り替え、ボタンの色でモードを表示します。

赤 : **MIDI モード** (フェーダは、MIDI CC 情報を送信します)

緑 : **Mackie Control/HUI モード** (フェーダは、Mackie Control/HUI プロトコルでメッセージを送信します)

詳しくは、**フェーダ > モード**を参照してください。

BUTTON MODE : ボタン (B1~B9) は、常に三つのモードのいずれかに設定されています。**BUTTON MODE** ボタンで、以下の通り、この三つのモードを切り替え、ボタンの色でモードを表示します。

赤 : **MIDI モード** (ボタンは、MIDI CC 情報を送信します)

緑 : **Mackie Control/HUI モード** (ボタンは、Mackie Control/HUI プロトコルでメッセージを送信します)

黄 : **HID モード** (ボタンは、ASCII キャラクタメッセージを送信します)

詳しくは、**ボタン > モード**を参照してください。

ENCODER MODE : エンコーダ (E1~E8) は、常に二つのモードのどちらかに設定されています。**ENCODER MODE** ボタンで、以下の通り、この二つのモードを切り替え、ボタンの色でモードを表示します。

赤 : **MIDI モード** (エンコーダは、MIDI CC 情報を送信します)

緑 : **Mackie Control/HUI モード** (エンコーダは、Mackie Control/HUI プロトコルでメッセージを送信します)

詳しくは、**エンコーダ > モード**を参照してください。

X-MODE / Y-MODE : X/Y パッドは、常に三つのモードのいずれかに設定されています。**X-MODE** または **Y-MODE** ボタンで、以下の通り、それぞれこの三つのモードを切り替え、ボタンの色でモードを表示します。

赤 : **MIDI モード** (その軸には MIDI CC がアサインされています)

桃 : **MIDI ノートモード** (その軸には MIDI ノートがアサインされています)

黄 : **HID モード** (X/Y パッドは、マウスやトラックパッドのように使用できます)

詳しくは、**X/Y パッド > モード**を参照してください。

M-AUDIO

BANKボタンを使用する

操作子（フェーダやボタン、エンコーダ）は、複数のバンクを持っていて、**BANK◀▶**ボタンで切り替えられます。このボタンで、すべての操作子のバンクの切り替えと、**BANK◀▶**ボタンのモードを切り替えることで、そのモードと同じモードの操作子のバンクのみを切り替えることができます。

BANK◀▶ボタンのモードを切り替えるには、**SHIFT** ボタンを押しながら **BANK◀▶**ボタンを押します。以下のモードが順に切り替わると同時に、LEDの色が変わり、どのモードにあるかを表示します。

ALL モード（色：白、ディスプレイ：ALL）

すべての操作子のバンクを切り替えることができます。**BANK◀▶**ボタンを押すと、ディスプレイには現在のバンクが **A1～A4** と表示されます。

MIDI モード（色：赤、ディスプレイ：MIDI）

MIDI モードになっている操作子のバンクを切り替えることができます。**BANK◀▶**ボタンを押すと、ディスプレイには現在のバンクが **MIDI1～MIDI4** と表示されます。

Mackie Control/HUI モード（色：緑、ディスプレイ：MACHUI）

Mackie Control/HUI モードになっている操作子のバンクを切り替えることができます。**BANK◀▶**ボタンを押すと、ディスプレイには **M/H** としか表示されませんが、実際にはバンクは切り替わっています。

HID モード（色：黄、ディスプレイ：HID）

HID モードになっている操作子のバンクを切り替えることができます。**BANK◀▶**ボタンを押すと、ディスプレイには現在のバンクが **H1～H4** と表示されます。

注意：操作子（フェーダやボタン、エンコーダ）のモードを切り替える際、それらは自動的に、最後に選択したモードで選ばれたバンクに切り替わります。例えば、フェーダが MIDI モードのバンク **3** になっていて、ボタンが HID モードのバンク **2** になっている場合、ボタンを MIDI モードに変更するとボタンは自動的にバンク **3** になります。

エディット・モード

エディット・モードでは、Code 49/61 の、MIDI パラメータやボタンの色、MIDI チャンネルなど様々な機能を設定します。

エディット・モードに入る（抜ける）には、**EDIT** ボタンを押します。EDIT ボタンが点灯します。

基本的な操作子のアサイン

操作子（フェーダ、ボタン、エンコーダなど）には、以下のものを設定可能です。

- **MIDI アサイン (CTRL ASSIGN)**：送信 MIDI メッセージのタイプを決定します。
- **DATA 1**：操作子がどのように機能するか（例えば、ボタンが Momentary で動作するか Toggle で動作するかなど）を決定します。これは、MIDI メッセージが NRPN (Non Registered Parameter Number) に設定されているボタン、パッド、または **サスティンペダル** に適用されます。
- **DATA 2**：操作子の最小値、または離れた際のメッセージなどを決定します。
- **DATA 3**：操作子の最大値、または押した際のメッセージなどを決定します。

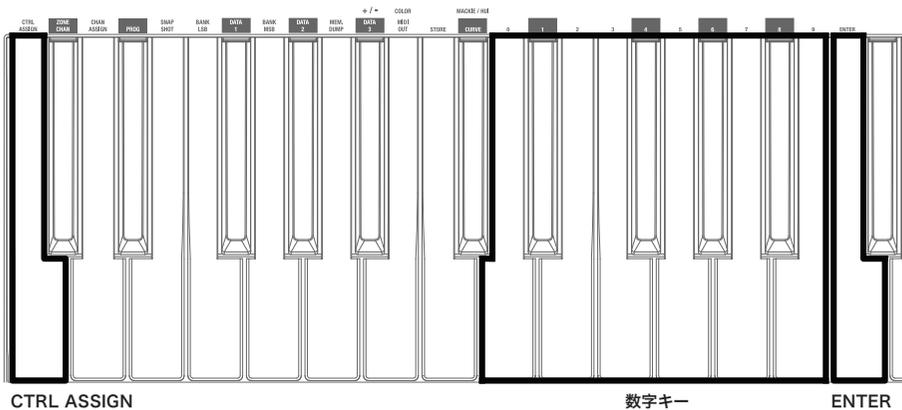
これらすべての番号は **付録 > パラメータ・ナンバ** でリストアップしています。いくつかの番号は一般的な MIDI の規格に準じていますが、専用の特別な番号も用意されています。

操作子のエディット

この章では、操作子のアサインの編集について説明します。

重要：

- エディット・モードで、操作子を操作すると、該当する MIDI メッセージは送信されます。言い換えると、エディット・モードは、操作子を操作して送信されるデータを妨げません。演奏しながら操作子のエディットを行う場合は、十分留意してください。但し、キーボードの下から 25 鍵（機能がプリントされたキー）は例外で、エディット・モードでこれらを押した場合は、MIDI ノート情報は送信されません。
- エディット・モードで変更したあと、キーボードの **ENTER** とプリントされたキーを押すと変更が保存されます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。



操作子のアサイン、変更を行うには：

1. **EDIT** ボタンを押してエディット・モードに入ります。
2. アサイン、変更したい操作子を動かして選択します。ディスプレイにその名前（または番号）が表示されます。
3. 以下の四つのパラメータを設定します。

コントロール・アサイン：

- i. キーボードの **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。
- ii. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで、付録 > パラメータ・ナンバの中から目的の MIDI メッセージを設定します。

DATA 1：この値は、MIDI メッセージが NRPN (Non Registered Parameter Number) に設定されている **ボタン**、**パッド**、または**サステインペダル**に適用されます。

- i. キーボードの **DATA 1** とプリントされたキーを押します。
- ii. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで、付録 > パラメータ・ナンバの中から目的の MIDI メッセージを設定します。

DATA 2：

- i. キーボードの **DATA 2** とプリントされたキーを押します。
- ii. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで、付録 > パラメータ・ナンバの中から目的の MIDI メッセージを設定します。

DATA 3：

- i. キーボードの **DATA 3** とプリントされたキーを押します。
- ii. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで、付録 > パラメータ・ナンバの中から目的の MIDI メッセージを設定します。

M-AUDIO

4. 変更を保存するには、キーボードの **ENTER** とプリントされたキーを押します。変更点は保存され、自動的にエディット・モードから抜けれます。変更をキャンセルするには、EDIT ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けれます。

重要：プリセットを保存する前に Code 49/61 の電源をオフにすると、設定したアサインなどはすべて失われます。必要な変更を施した場合は、必ずプリセットを保存しましょう。詳しくは、**プリセットとメモリ > プリセットの保存**を参照してください。

ゾーン

Code 49/61 のキーボードは、1~4 つのゾーンに分割することができます。ゾーンがアクティブの場合、**ZONE 1~4** ボタンが点灯します。ゾーンはそれぞれ MIDI チャンネルを設定できます。

ゾーンをアサインする

キーボードの一部分にゾーンを設定するには、キーの範囲を設定する必要があります。初期状態では、すべてのゾーンはすべてのキーを含む範囲が設定されています。

ゾーンにキーの範囲を設定するには：

1. **ZONE** ボタンを 1 秒間長押しして、ゾーン・エディット・モードに入ります。選択されているゾーン 1~4 ボタンが点滅します。
2. 変更したいゾーンを 1~4 ボタンを押して選択します。**ディスプレイ**には、そのゾーンのキーの範囲が表示されます (**C1.C5**、または **Bb2.Eb2** など)。

3. ゾーンに設定したいキー範囲の低い方のキーを押し、その後、設定したい高い方のキーを押します。**ディスプレイ**には、今設定した範囲が表示されます。他のゾーンの設定が必要であれば、ステップ 2~3 を繰り返します。

重要：ゾーンのキー範囲は、音程ではなくキーボードで指定されます。例えば、もしキーボードのオクターブを変更しても、指定されたキーボードの範囲がゾーンとして有効であり、音程はオクターブシフトによって変わってしまいます。

4. **ZONE** ボタンを押して、ゾーン・エディット・モードから抜けれます。

ゾーン・チャンネル

ゾーンにはそれぞれ異なる MIDI チャンネルを設定できます。

初期状態では、すべてのゾーンのチャンネルは「**00**」で、グローバル・チャンネルになっています (詳しくは、**チャンネル > グローバル・チャンネル**を参照してください)。これを、使用するソフトウェアや MIDI 音源に合わせてそれぞれ変更します。

ゾーンに MIDI チャンネルを設定するには：

1. **ZONE** ボタンを 1 秒間長押しして、ゾーン・エディット・モードに入ります。
2. 変更したいゾーンを 1~4 ボタンを押して選択します。
3. **SHIFT** ボタンを押しながら **ZONE CHAN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には **CHN** と現在の MIDI チャンネルが表示されます。または、**CHANNEL** ボタンを押します。
4. 以下の方法で、目的のチャンネルに設定します。
 - **SHIFT** ボタンを押しながら、**数字キー**で入力 (**01~16**)。
 - **プリセット▲▼**ボタンを押して選択 (**01~16**)。

5. **SHIFT** ボタンを押しながら、**ENTER** キーを押します。
6. 他のゾーンの設定が必要であれば、ステップ 2~5 を繰り返します。
ZONE ボタンを押して、ゾーン・エディット・モードから抜けます。

ゾーンと同じ MIDI チャンネルを他の操作子にアサインすることもできます。これは、その操作子をゾーンに組み込むという意味ではなく、単に同じ MIDI チャンネルに設定するという意味で、設定後ゾーンのチャンネルを変更した場合、それに合わせて操作子のチャンネルも変更になります。

操作子をゾーンのチャンネルに合わせるには：

1. **EDIT** ボタンを押します。EDIT ボタンが点灯します。
2. 設定したい操作子を動かします。**ディスプレイ**にその操作子の番号が表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**CHN** と表示され、その後選択されている操作子と現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. **数字キー**または**プリセット▲▼**ボタンで、ゾーンのチャンネル（**17~20**、または **z1~z4**）を設定します。
注意：チャンネル **00** はグローバル・チャンネル、**01~16** は一般的な MIDI チャンネル、**17~20** は **ゾーン 1~4** のチャンネルになります。
5. **ENTER** キーを押します。操作子に MIDI チャンネルが設定され、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

ゾーンのオクターブとトランスポーズ

各ゾーンごとにオクターブとトランスポーズを設定できます。ゾーンのオクターブとトランスポーズは、キーボード全体のそれとは異なり、設定したゾーンにだけ反映されますが、キーボード全体のシフトも反映されます。例えば、ゾーンのオクターブシフトが+1 で、キーボード全体のオクターブが+1 の場合、ゾーンの範囲はトータルで+2 分シフトします。また、ゾーンのオクターブシフトが+1 で、キーボードのトランスポーズが-2 だとすると、ゾーンの範囲はトータルで 10 半音分高くシフトします。

ゾーンのオクターブまたはトランスポーズを設定するには：

1. **ZONE** ボタンを 1 秒間長押しして、ゾーン・エディット・モードに入ります。
2. 変更したいゾーンを **1~4** ボタンを押して選択します。**ディスプレイ**には、そのゾーンのキーの範囲が表示されます（**C1.C5**、または **Bb2.Eb2** など）。
3. **オクターブを変更するには**、**KEY OCTAVE +/-**ボタンで設定します。**ディスプレイ**には、**OCT** とシフト値が表示されます。
トランスポーズを変更するには、**TRANSPOSE** ボタンを押しながら **KEY OCTAVE +/-**ボタンで設定します。**ディスプレイ**には、**TRN** とシフト値が表示されます（**-12~+12**）。
他のゾーンの設定が必要であれば、ステップ 2~3 を繰り返します。
4. **ZONE** ボタンを押して、ゾーン・エディット・モードから抜けます。

ゾーンのプログラム・チェンジ

各ゾーンはプログラム・チェンジ情報を送信可能です。設定しておけば、そのゾーンは常に同じプログラムを使用することができます。

ゾーンのプログラム・チェンジを設定するには：

1. **ZONE** ボタンを 1 秒間長押しして、ゾーン・エディット・モードに入ります。
2. 変更したいゾーンを **1~4** ボタンを押して選択します。
3. **SHIFT** ボタンを押しながら **PROG** キーを押します。ディスプレイには、**PRO** とプログラム・チェンジ番号が表示されます。
4. 以下の方法で、目的のプログラム・チェンジ番号に設定します。
 - **SHIFT** ボタンを押しながら、**数字キー**で入力 (**000~127**)。
 - **プリセット▲▼**ボタンを押して選択 (**000~127**)。
5. **SHIFT** を押しながら **ENTER** キーを押します。
6. 他のゾーンの設定が必要であれば、ステップ 2~5 を繰り返します。

ZONE ボタンを押して、ゾーン・エディット・モードから抜けます。

チャンネル

Code 49/61 は、以下の三つの異なる MIDI チャンネルモードを持っています。

- **コントロール・チャンネル** (操作子にアサインされたチャンネル)
- **ゾーン・チャンネル** (キーボードのゾーンにアサインされたチャンネル)
- **グローバル・チャンネル** (ゾーンで使われていないキーボードにアサインされたチャンネル)

コントロール・チャンネル

各操作子は、設定された MIDI チャンネルで設定された MIDI メッセージを送信します。

操作子に MIDI チャンネルを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的の操作子を動かし、選択します。操作子の番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**CHN** と操作子番号、現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のチャンネルを入力します (**00~16**、**17~20**)。

注意：同じ方法で、操作子をゾーンのチャンネルに合わせることも可能です。値に 17~20 を設定することで、それぞれゾーン 1~4 (z1~z4) と同じチャンネルに設定できます。

5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。詳しくは、**プリセットとメモリ > プリセットの保存**を参照してください。

ゾーン・チャンネル

ゾーンは、それぞれ別々のコントローラのように、異なる MIDI チャンネルで異なる MIDI メッセージを送信できます。

初期状態では、すべてのゾーンはチャンネル「00」に設定されていて、これは**グローバル・チャンネル**を表します。複数のソフトウェアや MIDI 音源をコントロールするには、それぞれのゾーンを異なる MIDI チャンネルに設定する必要があります。

ゾーンの MIDI チャンネルを設定するには：

1. **ZONE** ボタンを 1 秒間長押しして、ゾーン・エディット・モードに入ります。
2. 変更したいゾーンを 1～4 ボタンを押して選択します。
3. **SHIFT** ボタンを押しながら **ZONE CHAN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には **CHN** と現在の MIDI チャンネルが表示されます。または、**CHANNEL** ボタンを押します。
4. 以下の方法で、目的のチャンネルに設定します。
 - **SHIFT** ボタンを押しながら、**数字キー**で入力（00～16）。
 - **プリセット▲▼**ボタンを押して選択（00～16）。
5. **SHIFT** ボタンを押しながら、**ENTER** キーを押します。
6. 他のゾーンの設定が必要であれば、ステップ 2～5 を繰り返します。**ZONE** ボタンを押して、ゾーン・エディット・モードから抜けます。

グローバル・チャンネル

操作子やゾーンに MIDI チャンネルを設定する際、一般的な 01～16 チャンネルの他に、00 チャンネルを設定することができます。これは、グローバル・チャンネルを表し、Code 49/61 全体に共有可能な MIDI チャンネルです。グローバル・チャンネルに設定しておけば、例えば、いくつかの操作子のチャンネルを一度に変更する必要がある場合などに便利です。

初期状態では、グローバル・チャンネルは 1 チャンネルに設定されています。

グローバル・チャンネルを設定するには：

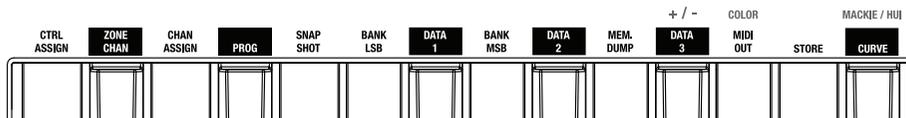
1. **CHANNEL** ボタンを押します。**ディスプレイ**には、**CHN** と現在のグローバル・チャンネルが表示されます。
2. **プリセット▲▼**ボタンを押して目的のチャンネルを選択します（01～16）。
3. 再度 **CHANNEL** ボタンを押します。**ディスプレイ**は以前の状態に戻ります。

M-AUDIO

キーボード

コマンド

キーボードの下から 25 鍵（機能がプリントされたキー）には、追加機能があり、**EDIT** ボタンを押してエディット・モードに入ると、それぞれの機能を実行します。この時、通常の MIDI ノート情報は送信されません。



CTRL ASSIGN

このキーを押したあと、**数字キー**でコントロールアサイン番号を設定します。この番号は、操作子が送信する MIDI CC 番号などの MIDI メッセージです。設定可能な番号は、[付録 > パラメータ・ナンバ](#)のリストを参照してください。

ZONE CHAN

ゾーン・エディット・モードで、**SHIFT** ボタンを押しながらこのキーを押して、ゾーンのチャンネルを設定します。4 つのゾーンにそれぞれ別のチャンネルを設定できます。

CHAN ASSIGN

このキーを押して、現在選択されている操作子の MIDI チャンネルを確認したり、設定したりすることができます。

PROG

このキーを押して、**数字キー**でプログラム・チェンジ番号を入力し、**ENTER** キーを押すとグローバル・チャンネルで設定している MIDI チャンネルにプログラム・チェンジ情報を送信します。

SNAP SHOT

このキーを押すと（または **SHIFT** ボタンを押しながら **CHANNEL** ボタンを押すと）、すべての操作子の現在の設定とアサインの状態をすべて送信します。DAW などのトラックの最初にこのデータを記録して、トータルリコールのように使用できます。

BANK LSB / BANK MSB

これらのキーで、バンクチェンジ情報（LSB、MSB）を送信します。

MEM DUMP

このキーで、本体の 12 のプリセットをシステムエクスクルーシブ・データとして送信します。SysEx を扱えるソフトウェアで、プリセットのバックアップが可能です。

DATA 1

このキーで、**DATA 1** の値を設定します。ボタンやパッド、サスティンペダルの NRPN 番号を設定するのに使います。送信可能な番号は、[付録 > パラメータ・ナンバ](#)を参照してください。

DATA 2

このキーで、**DATA 2** の値を設定します。送信可能な番号は、[付録 > パラメータ・ナンバ](#)を参照してください。

DATA 3

このキーで、**DATA 3** の値を設定します。送信可能な番号は、**付録 > パラメータ・ナンバ**を参照してください。

MIDI OUT / COLOR

このキーで、MIDI 出力端子 (**MIDI OUT**) を有効にするかどうかを設定します。初期状態では、無効になっています。

また、**SHIFT** ボタンを押しながらこのキーを押すことで、**パッド**や**ボタン**の色を変更できます。詳しくは、**パッド > アサインの編集 > 色**や**ボタン > アサインの編集 > 色**を参照してください。

STORE

このキーで、プリセットの上書き保存を行います。

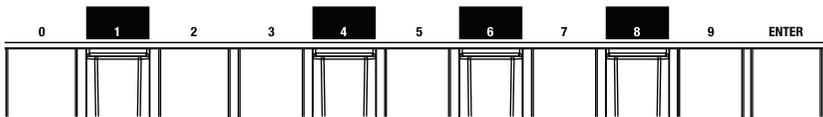
CURVE / MACKIE/HUI

このキーで、**キーボード**や**パッド**、**エンコーダ**、**X/Y パッド** (ノートモードの場合) のペロシティカーブを変更できます。

SHIFT ボタンを押しながらこのキーを押すことで、Mackie Control モードと HUI モードを切り替えられます。

数字キー

これらのキーで、パラメータの値などを入力します。



ENTER

設定を終えたあと、このキーを押して確定します。

アサインの編集

キーボードは、MIDI チャンネルとベロシティカーブの変更が可能です。

チャンネル

有効なゾーンで設定されている範囲以外のキーボードは、グローバル・チャンネル (01~16) が設定されます。初期状態では、グローバル・チャンネルは 1 チャンネルに設定されています。

グローバル・チャンネルを設定するには：

1. **CHANNEL** ボタンを押します。ディスプレイには、**CHN** と現在のグローバル・チャンネルが表示されます。
2. **プリセット▲▼**ボタンを押して目的のチャンネルを選択します (01~16)。
3. 再度 **CHANNEL** ボタンを押します。ディスプレイは以前の状態に戻ります。

カーブ

ベロシティの感度のカーブを変更できます。

キーボードのベロシティカーブを変更するには：

1. **EDIT** ボタンを押します。EDIT ボタンが点灯します。
2. **CURVE** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**VCrV** と表示され、現在のカーブ番号が表示されます。

ディスプレイ	番号	説明
VCrVC1	01	感度が低い設定です。低いベロシティを多用する際に便利です。
VCrVC2	02	中程度の感度設定です。通常の演奏であればこれが適しています。初期値。
VCrVC3	03	高感度設定です。高いベロシティを多用する際に便利です。
VCrVC4	04	リニア設定です。カとベロシティ値は比例します。
VCrVF1	05	ベロシティ 64 で固定です。
VCrVF2	06	ベロシティ 100 で固定です。
VCrVF3	07	ベロシティ 127 で固定です。

3. **プリセット▲▼**ボタンを押してカーブを選択します。
4. **ENTER** キーを押します。ベロシティカーブが設定され、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

オクターブとトランスポーズ

KEY OCTAVE +/-ボタンで 10 オクターブ・フルレンジにアクセスできます。また、トランスポーズ機能で、12 半音を上下にシフトできます。

キーボードのオクターブを変更するには：

KEY OCTAVE +/-ボタンで設定します。ディスプレイには、**OCT** とシフト値が表示されます。Code 49 は下に 3 オクターブ、上に 4 オクターブ、Code 61 は、上下とも 3 オクターブのシフトが可能です。

+と-を同時に押すと、リセット (シフト 0) されます。

キーボードのトランスポーズを行うには：

TRANPOSE ボタンを押しながら **KEY OCTAVE +/-**ボタンで設定します。ディスプレイには、**TRN** とシフト値が表示されます (-12~+12)。

フェーダ

アサインの編集

チャンネル

フェーダの MIDI チャンネルを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のフェーダを動かし、選択します。フェーダの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**CHN** とフェーダ番号、現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のチャンネルを入力します（**00~16**、**17~20**）。
5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

メッセージ

MIDICC

フェーダに MIDI CC（コントロール・チェンジ）をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のフェーダを動かし、選択します。フェーダの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**ASGN** とフェーダ番号、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します（**000~127**）。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 2** とフェーダ番号、現在の値が表示されます。ここでフェーダの最小値を設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の最小値を入力します（**000~127**）。
7. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 3** とフェーダ番号、現在の値が表示されます。ここでフェーダの最大値を設定します。
8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の最大値を入力します（**000~127**）。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、

Relative メッセージ

多くのソフトウェアでは、フェーダやエンコーダの位置情報を判断し、Absolute（絶対値）メッセージを受信します。いくつかのソフトウェアは、Relative（相対値）メッセージとして、単にインクリメント / デクリメント値を受信します。

フェーダを Relative メッセージを送信するように設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のフェーダを動かし、選択します。フェーダの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**ASGN** とフェーダ番号、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します（**000~127**）。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 2** とフェーダ番号、現在の値が表示されます。ここでフェーダのふるまいを設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の Relative な動作を設定します。
128または**130**：フェーダを上げると値を増加（インクリメント）し、下げると減少（デクリメント）します。
注意：ソフトウェアによっては 128 の値を受信しない場合がありますので、その際は、**130** に設定してください。
129または**131**：フェーダを上げると値を減少（デクリメント）し、下げると増加（インクリメント）します。
注意：ソフトウェアによっては 129 の値を受信しない場合がありますので、その際は、**131** に設定してください。
7. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

モード

フェーダは、常に二つのモードのどちらかに設定されています。**FADER MODE** ボタンで、この二つのモードを切り替え、**FADER MODE** ボタンの色でモードを表示します。

MIDIモード

このモードの時、**FADER MODE** ボタンは**赤色**になり、フェーダを動かすことでアサインされている MIDI CC 情報を送信します。

Mackie Control/HUIモード

このモードの時、**FADER MODE** ボタンは**緑色**になります。

Code 49/61 が **Mackie Control** モードに設定されている場合は、**フェーダ**を動かすことで Mackie Control プロトコルでトラックの**ボリューム**を調整します。

また、Code 49/61 が **HUI** モードに設定されている場合は、**フェーダ**を動かすことで HUI プロトコルでトラックの**ボリューム**を調整します（**マスタフェーダ**：F1 以外。マスタフェーダは MIDI モードとして動作します）。

BANK◀▶ボタンで、対応するトラックをシフトします。

ボタン

アサインの編集

チャンネル

ボタンの MIDI チャンネルを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のボタンを押して、選択します。ボタンの番号がディスプレイに表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**CHN** とボタン番号、現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. 数字キー、またはプリセット▲▼ボタンで目的のチャンネルを入力します（00～16、17～20）。
5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

メッセージ

MIDI CC

ボタンに MIDI CC（コントロール・チェンジ）をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のボタンを押して、選択します。ボタンの番号がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**ASGN** とボタン番号、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. 数字キー、またはプリセット▲▼ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します（000～127）。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 2** とボタン番号、現在の値が表示されます。ここでボタンから手を離れた時に送信される値を設定します。
6. 数字キー、またはプリセット▲▼ボタンで目的の値を入力します（000～127）。
7. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 3** とボタン番号、現在の値が表示されます。ここでボタンを押した時に送信される値を設定します。
8. 数字キー、またはプリセット▲▼ボタンで目的の値を入力します（000～127）。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、

MIDI ノート

ボタンには、MIDI ノートナンバをアサインすることもできます。

ボタンに MIDI ノートをアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のボタンを押して、選択します。ボタンの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**ASGN** とボタン番号、現在の値が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **147** と入力します。これは、MIDI ノートを送信するコマンドです。
5. **DATA 1** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 1** とボタン番号、現在の値が表示されます。ここで、送信されるノートナンバを設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のノートナンバを入力します。
7. **DATA 2** とプリントされたキーを押し、**数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで（ボタンから手を離れた時に送信される）ノート・オフのペロシティ値を設定します。
8. **DATA 3** とプリントされたキーを押し、**数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで（ボタンを押した時に送信される）ノート・オンのペロシティ値を設定します。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

ヒント：ボタンを一度押してノート・オン、もう一度押してノート・オフを送信するには、ステップ 4 で **148** と入力します。

MMC (MIDI Machine Control)

ボタンに MMC 情報をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のボタンを押して、選択します。ボタンの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**ASGN** とボタン番号、現在の値が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **149** と入力します。これは、MMC を送信するコマンドです。
5. **CHAN ASSIGN** キーを押します。**ディスプレイ**には、**DEV ID** とボタン番号、現在の値が表示されます。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **127** と入力します。
7. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 2** とボタン番号、現在の値が表示されます。ここで、送信される MMC メッセージを設定します。

001：停止	007：パンチアウト
002：再生	008：録音一時停止
003：遅れて再生	009：一時停止
004：早送り	010：取り出し
005：巻き戻し	011：チェイス
006：パンチイン	012：MMC リセット

8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MMC コマンドの番号を入力します。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

キーストローク

HID (Human Interface Device) プロトコルは、標準的なコンピュータのキーボードのキー情報を送信します。USB ゲームコントローラなどがこれの一例で、コンピュータのキーボードの代用として動作します。Code 49/61 のボタンはこの HID プロトコルに対応し、ソフトウェアのキーボード・ショートカットなどを、コンピュータのキーボードを使わずに送信することが可能です。

ボタンにキーストロークをアサインするには：

1. **BUTTON MODE** ボタンを押して、HID モードに切り替えます。**ディスプレイ**には、**HID** と表示されます。
2. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
3. 目的のボタンを押して、選択します。ボタンの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
4. **DATA 1** キーを押します。**ディスプレイ**には、**KEY1** と表示されます。ここで、送信されるキーストロークを設定します。

OFF	LEFT	/	HOME
0~9	RIGHT	`	PAGEU (Page Up)
A~Z	TAB	SEMI (;)	DELETE
SPACE	COMMA (,)	-	END
F1~F12	.	+	PAGED (Page
Backspace (BKSP)	'	*	Down)
RETURN	[=	NUM0~9
UP]	ESC	
DOWN	\	INSERT	

5. **プリセット▲▼**ボタンで目的のキーストロークを設定します。
6. **DATA 2** キーを押します。**ディスプレイ**には、**KEY2** と表示されます。ここで、送信されるモディファイ・キーを設定します。

	「Windows 用モディファイ・キー」	「Mac OS X 用モディファイ・キー」
OFF	Shift (W SHIFT) Control (W CTRL) Window (W WIN) Alt (W ALT) Shift+Control (W S+C) Shift+Window (W S+W) Shift+Alt (W S+A) Control+Window (W C+W) Control+Alt (W C+A) Window+Alt (W W+A) Shift+Control+Window (WS+C+W) Shift+Control+Alt (WS+C+A) Shift+Window+Alt (WS+W+A) Control+Window+Alt (C+W+A)	Shift (M SHIFT) Control (M CTRL) Command (M CMD) Option (M OPT) Shift+Control (M S+C) Shift+Option (M S+O) Shift+Command (M S+D) Control+Command (M C+D) Control+Option (M C+O) Command+Option (M D+O) Shift+Control+Command (MS+C+D) Shift+Control+Option (MS+C+O) Shift+Option+Command (MS+O+D) Control+Command+Option (MC+D+O)

7. プリセット▲▼ボタンで目的のモディファイ・キーを設定します。
8. ENTER キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、EDIT ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

ラッチ/アンラッチ

初期状態では、ボタンは、押した瞬間にオン情報が送出され、離すとオフ情報が送出される、いわゆる Momentary 設定になっています。これを、一度ボタンを押すとオン情報が送出され、次にもう一度押した時にオフ情報が送出される、Toggle 設定に変更することができます。

ボタンのふるまいを設定するには：

1. EDIT ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のボタンを押して、選択します。ボタンの番号がディスプレイに表示されます。
3. 数字キー、またはプリセット▲▼ボタンで 146 と入力します。これは、ボタンを Toggle 設定に変更するコマンドです。
4. DATA 1 とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、DATA 1 とボタン番号、現在の値が表示されます。ここで、送信される MIDI CC メッセージを設定します。
5. 数字キー、またはプリセット▲▼ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します。
6. DATA 2 とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、DATA 2 とボタン番号、現在の値が表示されます。ここで、2 度目にボタンを押した時に送信される値を設定します。
7. 数字キー、またはプリセット▲▼ボタンで目的の値を入力します。
8. DATA 3 とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、DATA 3 とボタン番号、現在の値が表示されます。ここで、最初にボタンを押した時に送信される値を設定します。
9. 数字キー、またはプリセット▲▼ボタンで目的の値を入力します。
10. ENTER キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、EDIT ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

色

ボタンは、アサインされた機能やノートなどによって最大 4 色で色分けすることができます。

ボタンの色を設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のボタンを押して、選択します。ボタンの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **SHIFT** ボタンを押しながら、**MIDI OUT/COLOR** とプリントされたキーを押します。ここで、ボタンの状態に伴う色を設定します。
 - **MIDI OUT/COLOR キーを一度押すと**：ディスプレイに **COLOR1** と表示され、ボタンがオフの時の色を決定します。
 - **MIDI OUT/COLOR キーを二度押すと**：ディスプレイに **COLOR2** と表示され、ボタンが最初に押されたの時の色を決定します。
 - **MIDI OUT/COLOR キーを三度押すと**：ディスプレイに **COLOR3** と表示され、ボタンが二度目に押されたの時の色を決定します。
 - **MIDI OUT/COLOR キーを四度押すと**：ディスプレイに **COLOR4** と表示され、ボタンが三度目に押されたの時の色を決定します。
4. **プリセット▲▼**ボタンで目的のカラー番号を設定します。

0 Off	4 Magenta
1 Green	5 Red
2 Cyan	6 Yellow
3 Blue	7 White

5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

モード

ボタンは、常に三つのモードのいずれかに設定されています。**BUTTON MODE** ボタンで、この三つのモードを切り替え、**BUTTON MODE** ボタンの色でモードを表示します。

MIDIモード

このモードの時、**BUTTON MODE** ボタンは**赤色**になり、ボタンを押すことでアサインされている MIDI CC 情報を送信します。

Mackie Control/HUIモード

このモードの時、**BUTTON MODE** ボタンは**緑色**になります。

このモードに設定されている場合は、ボタンは、**Mackie Control** プロトコルで、**トラックの選択**（緑、初期状態・TRACK）、**録音待機**（赤・RECORD）、**ソロ**（黄・SOLO）、**ミュート**（青・MUTE）をコントロールします（ボタンの色も変化します）。

最初のボタン（**B1**、**マスタフェーダ**の下）は、トラックに関する機能は有していません。

M-AUDIO

BANK ◀▶ ボタンで、対応するトラックをシフトします。

すべてのボタンの機能を設定するには、**SHIFT** ボタンを押しながら最初のボタン (**B1**、マスタフェーダの下) を押して、**TRACK**、**RECORD**、**SOLO**、**MUTE** を選択します。

ひとつのボタンだけの機能を設定するには、**SHIFT** ボタンを押しながら目的のボタンを押して、**TRACK**、**RECORD**、**SOLO**、**MUTE** を選択します。

HIDモード

このモードの時、**BUTTON MODE** ボタンは黄色になります。

ボタンを押すと HID (Human Interface Device) プロトコルでコンピュータにキーストロークとして情報を送信します。ボタンの色は 1 色のみ設定可能です。

ヒント : HID (Human Interface Device) プロトコルは、標準的なコンピュータのキーボードのキー情報を送信します。USB ゲームコントローラなどがこれの一例で、コンピュータのキーボードの代用として動作します。Code 49/61 のボタンはこの HID プロトコルに対応し、ソフトウェアのキーボード・ショートカットなどを、コンピュータのキーボードを使わずに送信することが可能です。

エンコーダ

アサインの編集

チャンネル

エンコーダの MIDI チャンネルを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のエンコーダを回して、選択します。エンコーダの番号がディスプレイに表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**CHN** とエンコーダ番号、現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. 数字キー、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のチャンネルを入力します (**00~16**、**17~20**)。
5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要 : プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

メッセージ

MIDI CC

エンコーダに MIDI CC (コントロール・チェンジ) をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のエンコーダを回して、選択します。エンコーダの番号がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**ASGN** とエンコーダ番号、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. 数字キー、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します (**000~127**)。

5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 2** とエンコーダ番号、現在の値が表示されます。ここでエンコーダから送信される最小値を設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します（000～127）。
7. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 3** とエンコーダ番号、現在の値が表示されます。ここでエンコーダから送信される最大値を設定します。
8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します（000～127）。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

Relative メッセージ

多くのソフトウェアでは、フェーダやエンコーダの位置情報を判断し、Absolute（絶対値）メッセージを受信します。いくつかのソフトウェアは、Relative（相対値）メッセージとして、単にインクリメント / デクリメント値を受信します。

エンコーダを Relative メッセージを送信するように設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のエンコーダを動かし、選択します。エンコーダの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**ASGN** とエンコーダ番号、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します（000～127）。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 2** とエンコーダ番号、現在の値が表示されます。ここでエンコーダのふるまいを設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の Relative な動作を設定します。
128 または **130**：エンコーダを時計回りに回すと値を増加（インクリメント）し、反時計回りで減少（デクリメント）します。
注意：ソフトウェアによっては 128 の値を受信しない場合がありますので、その際は、**130** に設定してください。
129 または **131**：エンコーダを時計回りに回すと値を減少（デクリメント）し、反時計回りで増加（インクリメント）します。
注意：ソフトウェアによっては 129 の値を受信しない場合がありますので、その際は、**131** に設定してください。
7. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

M-AUDIO

カーブ

エンコーダを回す速度と出力されるデータ比のカーブを変更できます。

エンコーダのカーブを変更するには：

1. **EDIT** ボタンを押します。EDIT ボタンが点灯します。
2. **CURVE** とプリントされたキーを 4 回押します。ディスプレイには、**ECrV** と表示され、現在のカーブ番号が表示されます。

ディスプレイ	番号	説明
ECrVOF	00	エンコーダを回すスピードにかかわらず回す方向に 1 ステップずつ値を変更します。
ECrVC2	01	遅い加速度カーブで、値を微調整する際に便利です。
ECrVC3	02	中感度のカーブで、初期状態です。
ECrVC4	03	速い加速度カーブで、値を大きく変更する場合に便利です。

3. **プリセット▲▼**ボタンを押してカーブを選択します。
4. **ENTER** キーを押します。ベロシティカーブが設定され、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

モード

エンコーダは、常に二つのモードのどちらかに設定されています。**ENCODER MODE** ボタンで、この二つのモードを切り替え、**ENCODER MODE** ボタンの色でモードを表示します。

MIDIモード

このモードの時、**ENCODER MODE** ボタンは**赤色**になり、エンコーダを動かすことでアサインされている MIDI CC 情報を送信します。

Mackie Control/HUIモード

このモードの時、**ENCODER MODE** ボタンは**緑色**になります。

Code 49/61 が **Mackie Control** モードに設定されている場合は、エンコーダを動かすことで Mackie Control プロトコルでトラックの**パン**を調整します。

また、Code 49/61 が **HUI** モードに設定されている場合は、エンコーダを動かすことで HUI プロトコルでトラックの**パン**を調整します。Avid Pro Tools のステレオトラックでは、左右二つの**パン**がありますが、この場合は、SHIFT ボタンを使ってエンコーダを操作することで、左右の**パン**を切り替えます。

BANK◀▶ボタンで、対応するトラックをシフトします。

X/Yパッド

アサインの編集

チャンネル

X/Y パッドの MIDI チャンネルを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. **X** ボタンまたは **Y** ボタンを押して、目的の軸を選択します。軸の文字（X または Y）がディスプレイに表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**CHN** と軸の文字、現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のチャンネルを入力します（00～16、17～20）。
5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

メッセージ

MIDI CC

X/Y パッドに MIDI CC（コントロール・チェンジ）をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. **X** ボタンまたは **Y** ボタンを押して、目的の軸を選択します。軸の文字（X または Y）がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**ASGN** と軸の文字、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します（000～127）。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 2** と軸の文字、現在の値が表示されます。ここで送信される最小値を設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の最小値を入力します（000～127）。
7. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 3** と軸の文字、現在の値が表示されます。ここで送信される最大値を設定します。
8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の最大値を入力します（000～127）。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

Relative メッセージ

多くのソフトウェアでは、フェーダやエンコーダの位置情報を判断し、Absolute（絶対値）メッセージを受信します。いくつかのソフトウェアは、Relative（相対値）メッセージとして、単にインクリメント / デクリメント値を受信します。

X/Y パッドを Relative メッセージを送信するように設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. **X** ボタンまたは **Y** ボタンを押して、目的の軸を選択します。軸の文字（X または Y）が **ディスプレイ** に表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ** には、**ASGN** と軸の文字、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. **数字キー**、または **プリセット▲▼** ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します（**000~127**）。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ** には、**DATA 2** と軸の文字、現在の値が表示されます。ここでタッチパッドのふるまいを設定します。
6. **数字キー**、または **プリセット▲▼** ボタンで目的の Relative な動作を設定します。
128 または **130**：プラス方向にタッチした指を動かすと値を増加（インクリメント）し、マイナス方向に動かすと減少（デクリメント）します。
注意：ソフトウェアによっては 128 の値を受信しない場合がありますので、その際は、**130** に設定してください。
129 または **131**：プラス方向にタッチした指を動かすと値を減少（デクリメント）し、マイナス方向に動かすと増加（インクリメント）します。
注意：ソフトウェアによっては 129 の値を受信しない場合がありますので、その際は、**131** に設定してください。
7. **ENTER** キーを押して、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

MIDI ノート

X/Y パッドには、MIDI ノートナンバをアサインすることもできます。

X/Y パッドに MIDI ノートをアサインするには：

1. **X-MODE**、または **Y-MODE** ボタンを押して、MIDI ノートモードに設定します。**ディスプレイ** には、**NOTE** と表示され、X-MODE、または Y-MODE ボタンは桃色になります。
2. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
3. **X** ボタンまたは **Y** ボタンを押して、目的の軸を選択します。軸の文字（X または Y）が **ディスプレイ** に表示されます。
4. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ** には、**MIN** と軸の文字、現在の値が表示されます。ここで送信される一番低いノートを設定します。
5. 以下の方法で、MIDI ノートナンバを設定します。
 - **数字キー**でノートナンバを入力（**000~127**）。
 - **プリセット▲▼** ボタンを押して半音ずつ移動して選択（**C-1~G9**）。

6. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**MAX** と軸の文字、現在の値が表示されま
す。ここで送信される一番高いノートを、ステップ 5 と同様に設定します。
7. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、
変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

カーブ

X/Y パッド上で動かす指の速さとペロシティ比のカーブを変更できます。これは、MIDI ノートモードの場合のみに有効です。

X/Y パッドのカーブを変更するには：

1. **EDIT** ボタンを押します。EDIT ボタンが点灯します。
2. **CURVE** とプリントされたキーを 3 回押します。**ディスプレイ**には、**TCrV** と表示され、現在のカーブ番号が表示されます。

ディスプレイ	番号	説明
TCrVF1	01	ペロシティ 64 固定です (初期状態)。
TCrVF2	02	ペロシティ 100 固定です。
TCrVF3	03	ペロシティ 127 固定です。
TCrVS2	04	ペロシティは 64 と 127 が交互に送信されます。
TCrVS3	05	三つ目のノートだけが 127 に、その他は 64 固定です。
TCrVS4	06	ペロシティは 100 と 127 が交互に送信されます。
TCrVS5	07	三つ目のノートだけが 127 に、その他は 100 固定です。
TCrVS6	08	64~127 の範囲で送信されます。
TCrVS7	09	100~127 の範囲で送信されます。
TCrVS8	10	1~127 の範囲で送信されます。

3. プリセット▲▼ボタンを押してカーブを選択します。
4. **ENTER** キーを押します。ペロシティカーブが設定され、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、EDIT ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

モード

X/Y パッドは、常に三つのモードのいずれかに設定されています。**X-MODE** または **Y-MODE** ボタンで、この三つのモードを切り替え、X-MODE または Y-MODE ボタンの色でモードを表示します。

MIDIモード

このモードの時、**X-MODE** または **Y-MODE** ボタンは**赤色**になり、X/Y パッド上で指を動かすことでアサインされている MIDI CC 情報を送信します。

MIDIノートモード

このモードの時、**X-MODE** または **Y-MODE** ボタンは**桃色**になり、X/Y パッド上で指を動かすことでアサインされている MIDI ノート情報を送信します。

M-AUDIO

HIDモード

このモードの時、**X-MODE** または **Y-MODE** ボタンは**黄色**になり、X/Y パッド上で指を動かすことでコンピュータのトラックパッドと同様に使用できます。

また、**X** ボタンは左クリック、**Y** ボタンは右クリックとして機能します。

パッド

アサインの編集

チャンネル

パッドの MIDI チャンネルを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のパッドを押して、選択します。パッドの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**CHN** とパッド番号、現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のチャンネルを入力します (**00~16**、**17~20**)。
5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

メッセージ

MIDI ノート

パッドに MIDI ノートをアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のパッドを押して、選択します。パッドの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**ASGN** とパッド番号、現在の MIDI ノート番号が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **147** と入力します。これは、MIDI ノートを送信するコマンドです。
5. **DATA 1** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 1** とパッド番号、現在の値が表示されます。ここで、送信されるノートナンバを設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のノートナンバを入力します。
7. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

ヒント：パッドを一度押してノート・オン、もう一度押してノート・オフを送信するには、ステップ 4 で **148** と入力します。

主なドラム音とノートナンバ：

Pad	Drum	MIDI Note	Pad	Drum	MIDI Note
P1	Kick Drum	36 (C2)	P9	Pedal Hi-Hat	44 (Ab2)
P2	Side-Stick	37 (Db2)	P10	Low Tom	45 (A2)
P3	Snare Drum	38 (D2)	P11	Open Hi-Hat	46 (Bb2)
P4	Hand-Clap	39 (Eb2)	P12	Low Mid Tom	47 (B2)
P5	Electric Snare Drum	40 (E2)	P13	Hi Mid Tom	48 (C3)
P6	Low Floor Tom	41 (F2)	P14	Crash Cymbal 1	49 (Db3)
P7	Hi-Hat (closed)	42 (Gb2)	P15	High Tom	50 (D3)
P8	High Floor Tom	43 (G2)	P16	Ride Cymbal 1	51 (Eb3)

MIDI CC

パッドを押した時、離れた時にそれぞれ MIDI CC (コントロール・チェンジ) をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のパッドを押して、選択します。パッドの番号がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**ASGN** とパッド番号、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します (000~127)。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 2** とパッド番号、現在の値が表示されます。ここでパッドから手を離れた時に送信される値を設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します (000~127)。
7. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 3** とパッド番号、現在の値が表示されます。ここでパッドを押した時に送信される値を設定します。
8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します (000~127)。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

MMC (MIDI Machine Control)

パッドに MMC 情報をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のパッドを押して、選択します。ボタンの番号がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**ASGN** とパッド番号、現在の値が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **149** と入力します。これは、MMC を送信するコマンドです。
5. **CHAN ASSIGN** キーを押します。ディスプレイには、**DEV ID** とパッド番号、現在の値が表示されます。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **127** と入力します。

7. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 2** とパッド番号、現在の値が表示されます。ここで、送信される MMC メッセージを設定します。

001 : 停止	007 : パンチアウト
002 : 再生	008 : 録音一時停止
003 : 遅れて再生	009 : 一時停止
004 : 早送り	010 : 取り出し
005 : 巻き戻し	011 : チェイス
006 : パンチイン	012 : MMC リセット

8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MMC コマンドの番号を入力します。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要 : プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

ラッチ/アンラッチ

初期状態では、パッドは、押した瞬間にオン情報が送出され、離すとオフ情報が送出される、いわゆる Momentary 設定になっています。これを、一度パッドを押すとオン情報が送出され、次にもう一度押した時にオフ情報が送出される、Toggle 設定に変更することができます。

パッドのふるまいを設定するには :

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のパッドを押して、選択します。パッドの番号が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **146** と入力します。これは、パッドを Toggle 設定に変更するコマンドです。
4. **DATA 1** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 1** とパッド番号、現在の値が表示されます。ここで、送信される MIDI CC メッセージを設定します。
5. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します。
6. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 2** とパッド番号、現在の値が表示されます。ここで、2 度目にパッドを押した時に送信される値を設定します。
7. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します。
8. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 3** とパッド番号、現在の値が表示されます。ここで、最初にボタンを押した時に送信される値を設定します。
9. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します。
10. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要 : プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

カーブ

パッドを押す強さと出力されるベロシティ比のカーブを変更できます。

パッドのカーブを変更するには：

1. **EDIT** ボタンを押します。EDIT ボタンが点灯します。
2. **CURVE** とプリントされたキーを 2 回押します。ディスプレイには、**PCrV** と表示され、現在のカーブ番号が表示されます。

ディスプレイ	番号	説明
PCrVC1	01	感度が低い設定です。低いベロシティを多用する際に便利です。
PCrVC2	02	中程度の感度設定です。通常の演奏であればこれが適しています。初期値。
PCrVC3	03	高感度設定です。高いベロシティを多用する際に便利です。
PCrVC4	04	リニア設定です。力とベロシティ値は比例します。
PCrVF1	05	ベロシティ 64 で固定です。
PCrVF2	06	ベロシティ 100 で固定です。
PCrVF3	07	ベロシティ 127 で固定です。
PCrVS2	08	力によって 64 または 127 を送信します。
PCrVS3	09	力によって 64 、 100 または 127 を送信します。
PCrVS4	10	力によって 32 、 64 、 100 または 127 を送信します。

3. **プリセット▲▼**ボタンを押してカーブを選択します。
4. **ENTER** キーを押します。ベロシティカーブが設定され、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

色

パッドは、アサインされた機能やノートなどによって最大 4 色で色分けすることができます。

パッドの色を設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のパッドを押して、選択します。パッドの番号がディスプレイに表示されます。
3. **SHIFT** ボタンを押しながら、**MIDI OUT/COLOR** とプリントされたキーを押します。ここで、パッドの状態に伴う色を設定します。
 - **MIDI OUT/COLOR** キーを一度押すと：ディスプレイに **COLOR1** と表示され、パッドがオフの時の色を決定します。
 - **MIDI OUT/COLOR** キーを二度押すと：ディスプレイに **COLOR2** と表示され、パッドが最初に押されたの時の色を決定します。
 - **MIDI OUT/COLOR** キーを三度押すと：ディスプレイに **COLOR3** と表示され、パッドが二度目に押されたの時の色を決定します。
 - **MIDI OUT/COLOR** キーを四度押すと：ディスプレイに **COLOR4** と表示され、パッドが三度目に押されたの時の色を決定します。
4. **プリセット▲▼**ボタンで目的のカラー番号を設定します。

0 Off	7 Violet
1 Chartreuse	8 Magenta
2 Green	9 Rose
3 Aquamarine	10 Red
4 Cyan	11 Orange
5 Azure	12 Yellow
6 Blue	13 White

5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

オクターブとトランスポーズ

PAD OCTAVE +/-ボタンで 10 オクターブ・フルレンジにアクセスできます。また、トランスポーズ機能で、12 半音を上下にシフトできます。

パッドのオクターブを変更するには：

PAD OCTAVE +/-ボタンで設定します。ディスプレイには、**OCT** とシフト値が表示されます。上下とも 5 オクターブのシフトが可能です。

+と-を同時に押すと、リセット（シフト 0）されます。

パッドのトランスポーズを行うには：

TRANPOSE ボタンを押しながら **PAD OCTAVE +/-**ボタンで設定します。ディスプレイには、**TRN** とシフト値が表示されます（-12~+12）。

ホイール

アサインの編集

チャンネル

ホイールの MIDI チャンネルを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のホイールを動かし、選択します。**PW**（ピッチベンド）または **MW**（モジュレーション）の文字がディスプレイに表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**CHN** と **PW** または **MW** の文字、現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. 数字キー、またはプリセット▲▼ボタンで目的のチャンネルを入力します（00~16、17~20）。
5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

メッセージ

MIDI CC

ホイールに MIDI CC (コントロール・チェンジ) をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. 目的のホイールを動かし、選択します。**PW** (ピッチベンド) または **MW** (モジュレーション) の文字がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**ASGN** と **PW** または **MW** の文字、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します (000~127)。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 2** と **PW** または **MW** の文字、現在の値が表示されます。ここでホイールの最小値を設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の最小値を入力します (000~127)。
7. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 3** と **PW** または **MW** の文字、現在の値が表示されます。ここでホイールの最大値を設定します。
8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の最大値を入力します (000~127)。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

注意：ピッチベンド・ホイールについては、最小値と最大値の範囲は、ホイールの動作幅のすべてに適用されます。中心位置からの範囲ではありません。

サステインペダル

アサインの編集

チャンネル

サステインペダルの MIDI チャンネルを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. サステインペダルを押して、選択します。**SUS** の文字が**ディスプレイ**に表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**CHN** と **SUS** の文字、現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のチャンネルを入力します (00~16、17~20)。
5. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

メッセージ

MIDI CC

サスティンペダルに MIDI CC (コントロール・チェンジ) をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. サスティンペダルを押して、選択します。**SUS** の文字がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**ASGN** と **SUS** の文字、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します (000~127)。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 2** と **SUS** の文字、現在の値が表示されます。ここでペダルを離れた時に送信される値を設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します (000~127)。
7. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 3** と **SUS** の文字、現在の値が表示されます。ここでペダルを押した時に送信される値を設定します。
8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します (000~127)。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。
重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

MIDI ノート

サスティンペダルには、MIDI ノートナンバをアサインすることもできます。

サスティンペダルに MIDI ノートをアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. サスティンペダルを押して、選択します。**SUS** の文字がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**ASGN** とボタン番号、現在の値が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **147** と入力します。これは、MIDI ノートを送信するコマンドです。
5. **DATA 1** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 1** と **SUS** の文字、現在の値が表示されます。ここで、送信されるノートナンバを設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のノートナンバを入力します。
7. **DATA 2** とプリントされたキーを押し、**数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで (ペダルを離れた時に送信される) ノート・オフのペロシティ値を設定します。
8. **DATA 3** とプリントされたキーを押し、**数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで (ペダルを押した時に送信される) ノート・オンのペロシティ値を設定します。

9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

ヒント：ペダルを一度押してノート・オン、もう一度押してノート・オフを送信するには、ステップ 4 で **148** と入力します。

MMC (MIDI Machine Control)

サステインペダルに MMC 情報をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. サステインペダルを押して、選択します。**SUS** の文字がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**ASGN** と **SUS** の文字、現在の値が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **149** と入力します。これは、MMC を送信するコマンドです。
5. **CHAN ASSIGN** キーを押します。**ディスプレイ**には、**DEV ID** と **SUS** の文字、現在の値が表示されます。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **127** と入力します。
7. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**DATA 2** と **SUS** の文字、現在の値が表示されます。ここで、送信される MMC メッセージを設定します。

001：停止

002：再生

003：遅れて再生

004：早送り

005：巻き戻し

006：パンチイン

007：パンチアウト

008：録音一時停止

009：一時停止

010：取り出し

011：チェイス

012：MMC リセット

8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MMC コマンドの番号を入力します。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

M-AUDIO

ラッチ/アンラッチ

初期状態では、サスティンペダルは、押した瞬間にオン情報が送出され、離すとオフ情報が送出される、いわゆる Momentary 設定になっています。これを、一度ボタンを押すとオン情報が送出され、次にもう一度押した時にオフ情報が送出される、Toggle 設定に変更することができます。

サスティンペダルのふるまいを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. サスティンペダルを押して、選択します。**SUS** の文字がディスプレイに表示されます。
3. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで **146** と入力します。これは、サスティンペダルを Toggle 設定に変更するコマンドです。
4. **DATA 1** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 1** と **SUS** の文字、現在の値が表示されます。ここで、送信される MIDI CC メッセージを設定します。
5. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します。
6. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 2** と **SUS** の文字、現在の値が表示されます。ここで、2 度目にサスティンペダルを押した時に送信される値を設定します。
7. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します。
8. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 3** と **SUS** の文字、現在の値が表示されます。ここで、最初にサスティンペダルを押した時に送信される値を設定します。
9. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します。
10. **ENTER** キーを押して、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

ボリュームペダル

アサインの編集

チャンネル

ボリュームペダルの MIDI チャンネルを設定するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. ボリュームペダルを動かして、選択します。**VOL** の文字がディスプレイに表示されます。
3. **CHAN ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**CHN** と **VOL** の文字、現在の MIDI チャンネルが表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的のチャンネルを入力します (**00~16**、**17~20**)。
5. **ENTER** キーを押して、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

メッセージ

MIDI CC

ボリュームペダルに MIDI CC (コントロール・チェンジ) をアサインするには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. ボリュームペダルを動かして、選択します。**VOL** の文字がディスプレイに表示されます。
3. **CTRL ASSIGN** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**ASGN** と **VOL** の文字、現在の MIDI CC 番号が表示されます。
4. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の MIDI CC 番号を入力します (**000~127**)。
5. **DATA 2** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 2** と **VOL** の文字、現在の値が表示されます。ここで送信される最小値を設定します。
6. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します (**000~127**)。
7. **DATA 3** とプリントされたキーを押します。ディスプレイには、**DATA 3** と **VOL** の文字、現在の値が表示されます。ここで送信される最大値を設定します。
8. **数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで目的の値を入力します (**000~127**)。
9. **ENTER** キーを押し、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

重要：プリセットの変更点を保存するには、プリセットを保存する必要があります。

Mackie ControlとHUI

Code 49/61 は、Mackie Control または HUI プロトコルを切り替えて、これらのプロトコルで情報を送信することができます。

尚、実際にこのプロトコルで操作するには、フェーダやボタン、エンコーダはそれぞれ Mackie Control/HUI モードに設定してある必要があります。

また、パッドとキーボードにはこのプロトコルは適用されません。

Mackie Control または HUI プロトコルを切り替えるには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. **SHIFT** ボタンを押しながら **CURVE / MACKIE/HUI** とプリントされたキーを押します。キーを押す度に、**MACKIE** と **HUI** が切り替わります。
3. 選択した方を確認し、1 秒ほど待つと自動的にエディット・モードから抜けます。

M-AUDIO

Mackie Controlを使用する

操作子（フェーダ、ボタンやエンコーダ）が Mackie Control/HUI モードになっている時、**FADER MODE** ボタン、**BUTTON MODE** ボタン、**ENCODER MODE** ボタンはそれぞれ緑色に点灯します。

また、**BANK◀▶**ボタンで、対応するトラックをシフトします。

Mackie Control プロトコルを使用する際、各操作子は以下のように動作します。

- **フェーダ**：各トラックのボリュームをコントロールします。
- **ボタン**：各トラックの、**トラックの選択**（緑、初期状態・TRACK）、**録音待機**（赤・RECORD）、**ソロ**（黄・SOLO）、**ミュート**（青・MUTE）をコントロールします（ボタンの色も変化します）。

最初のボタン（**B1**、**マスタフェーダ**の下）は、トラックに関する機能は有していません。

すべてのボタンの機能を設定するには、**SHIFT** ボタンを押しながら最初のボタン（**B1**、**マスタフェーダ**の下）を押して、**TRACK**、**RECORD**、**SOLO**、**MUTE** を選択します。

ひとつのボタンだけの機能を設定するには、**SHIFT** ボタンを押しながら目的のボタンを押して、**TRACK**、**RECORD**、**SOLO**、**MUTE** を選択します。

- **エンコーダ**：各トラックの**パン**をコントロールします。

HUIを使用する

操作子（フェーダ、ボタンやエンコーダ）が Mackie Control/HUI モードになっている時、**FADER MODE** ボタン、**BUTTON MODE** ボタン、**ENCODER MODE** ボタンはそれぞれ緑色に点灯します。

また、**BANK◀▶**ボタンで、対応するトラックをシフトします。

HUI プロトコルを使用する際、各操作子は以下のように動作します。

- **フェーダ**：各トラックのボリュームをコントロールします。**マスタフェーダ**（**F1**）は MIDI モードとして動作します。
- **ボタン**：各トラックの、**トラックの選択**（緑、初期状態・TRACK）、**録音待機**（赤・RECORD）、**ソロ**（黄・SOLO）、**ミュート**（青・MUTE）をコントロールします（ボタンの色も変化します）。

最初のボタン（**B1**、**マスタフェーダ**の下）は、トラックに関する機能は有していません。

すべてのボタンの機能を設定するには、**SHIFT** ボタンを押しながら最初のボタン（**B1**、**マスタフェーダ**の下）を押して、**TRACK**、**RECORD**、**SOLO**、**MUTE** を選択します。

ひとつのボタンだけの機能を設定するには、**SHIFT** ボタンを押しながら目的のボタンを押して、**TRACK**、**RECORD**、**SOLO**、**MUTE** を選択します。

- **エンコーダ**：各トラックの**パン**をコントロールします。Avid Pro Tools のステレオトラックでは、左右二つのパンがありますが、この場合は、**SHIFT** ボタンを使ってエンコーダを操作することで、左右のパンを切り替えます。

MIDI出力

MIDI 出力端子 (MIDI OUT) から MIDI 情報を出力することができますが、初期状態では、無効になっています。

MIDI 出力端子 (MIDI OUT) を有効 (無効) にするには：

1. **EDIT** ボタンを押してエディット・モードに入ります。
2. **MIDI OUT** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**MID ON** または **MIDOFF** と表示されます。

キーを押して **MID ON** または **MIDOFF** を選択します。

選択した方を確認し、1 秒ほど待つと自動的にエディット・モードから抜けます。

MIDIパニック

何らかの原因で送信した MIDI 情報がスタックし、音が鳴りっぱなしになってしまうなどした際には、**SHIFT** ボタンを押しながら **TRANSPOSE** ボタンを押すことで、MIDI パニック情報を送信できます。ノート情報およびコントロール情報のすべての送信が止まります (**Reset All Controllers** および **All Note Off**)。

プログラム・チェンジ

エディット・モードで、プログラム・チェンジ情報を送信するには：

1. **EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
2. **PROG** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**には、**PRO** と現在のプログラム・チェンジ情報が表示されます。
3. **数字キー**または**プリセット▲▼**ボタンで、目的のプログラム・ナンバを入力します (000~127)。
4. **ENTER** キーを押します。操作子に MIDI チャンネルが設定され、エディット・モードから抜けます。変更をキャンセルするには、**EDIT** ボタンを押すと、変更は保存されずにエディット・モードを抜けます。

どのモードにおいてプログラム・チェンジ情報を送信するには：

1. **SHIFT** ボタンを押したまま、
2. **プリセット▲▼**ボタンでプログラム番号を送っていきます。

ゾーンのプログラム・チェンジ

各ゾーンはプログラム・チェンジ情報を送信可能です。設定しておけば、そのゾーンは常に同じプログラムを使用することができます。

ゾーンのプログラム・チェンジを設定するには：

1. **ZONE** ボタンを 1 秒間長押しして、ゾーン・エディット・モードに入ります。
2. 変更したいゾーンを 1~4 ボタンを押して選択します。
3. **SHIFT** ボタンを押しながら **PROG** キーを押します。**ディスプレイ**には、**PRO** とプログラム・チェンジ番号が表示されます。

M-AUDIO

- 以下の方法で、目的のプログラム・チェンジ番号に設定します。
 - **SHIFT** ボタンを押しながら、**数字キー**で入力 (**000~127**)。
 - **プリセット▲▼**ボタンを押して選択 (**000~127**)。

- SHIFT** を押しながら **ENTER** キーを押します。

- 他のゾーンの設定が必要であれば、ステップ 2~5 を繰り返します。

ZONE ボタンを押して、ゾーン・エディット・モードから抜けます。

プリセットとメモリ

Code 49/61 は、各操作子のアサイン、MIDI チャンネル、キーボード・ゾーンなどを、お使いになる DAW やソフトウェア音源、パフォーマンス、セッションごとなどに、12 個のプリセットとして記憶可能です。

重要：プリセットを保存する前に Code 49/61 の電源をオフにすると、設定したアサインなどはすべて失われます。必要な変更を施した場合は、必ずプリセットを保存しましょう。

プリセットの選択

プリセットを選択するには、**プリセット▲▼**ボタンを使用します。現在選択されているプリセット番号は**ディスプレイ**に表示されます。

プリセットの保存

プリセットを保存するには：

- EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
- キーボードの **STORE** とプリントされたキーを押します。**ディスプレイ**に **TO** と、最後に選んだプリセット番号が表示されます。
- キーボードの数字がプリントされたキー (**数字キー**)、または**プリセット▲▼**ボタンで保存する先のプリセットを選びます (**00~12**)。
- キーボードの **ENTER** とプリントされたキーを押します。これで、現在のセッティングがプリセットとして書き保存されます。

SysExデータの送受信

本体の 12 のプリセットをシステムエクスクルーシブ・データとして送信します。SysEx を扱えるソフトウェアで、プリセットのバックアップ、リストアが可能です。

DAW に SysEx データを送信するには：

- コンピュータで SysEx を受信できる設定にしておきます。
- EDIT** ボタンを押して、エディット・モードに入ります。
- コンピュータでデータの記録を開始します。
- MEM DUMP** とプリントされたキーを押します。**TO** とプリセット番号が表示されますので、**数字キー**、または**プリセット▲▼**ボタンで送信したいプリセットを選択し、**ENTER** キーを押します。
- ディスプレイ**に、**SYS** と表示され、SysEx データの送信が始まります。

DAW から SysEx データを受信するには：

1. コンピュータで目的の SysEx データを開いておきます。
2. 送信を始めます。
3. Code 49/61 のディスプレイには、**SYS** と表示され SysEx ファイルの受信が始まります。現在選択されているプリセットが上書きされますので、注意してください。
4. **プリセット▲▼**ボタンで今受信したプリセットを選び直します。

工場出荷時への初期化

工場出荷時の状態へ初期化するには、**PAD OCTAVE +/-**ボタンをどちらも押しながら Code 49/61 の電源を入れます。プリセットも初期化されるのでご注意ください。

Registered Parameter Numbers (RPNs) (000~127)

00 Bank Select	37 Portamento Time LSB
01 Modulation	38 Data Entry LSB
02 Breath Control	39 Channel Volume LSB
03 Controller 3	40 Balance LSB
04 Foot Control	41 Controller 41
05 Portamento Time	42 Pan LSB
06 Data Entry MSB	43 Expression LSB
07 Channel Volume	44 Controller 44
08 Balance	45 Controller 45
09 Controller 9	46 Controller 46
10 Pan	47 Controller 47
11 Expression	48 General Purpose 1 LSB
12 Effects Controller 1	49 General Purpose 2 LSB
13 Effects Controller 2	50 General Purpose 3 LSB
14 Controller 14	51 General Purpose 4 LSB
15 Controller 15	52 Controller 52
16 General Purpose 1	53 Controller 53
17 General Purpose 2	54 Controller 54
18 General Purpose 3	55 Controller 55
19 General Purpose 4	56 Controller 56
20 Controller 20	57 Controller 57
21 Controller 21	58 Controller 58
22 Controller 22	59 Controller 59
23 Controller 23	60 Controller 60
24 Controller 24	61 Controller 61
25 Controller 25	62 Controller 62
26 Controller 26	63 Controller 63
27 Controller 27	64 Sustain Pedal
28 Controller 28	65 Portamento
29 Controller 29	66 Sostenuto
30 Controller 30	67 Soft Pedal
31 Controller 31	68 Legato Pedal
32 Bank Select LSB	69 Hold 2
33 Modulation LSB	70 Sound Variation
34 Breath Control LSB	71 Resonance
35 Controller 35	72 Release Time
36 Foot Control LSB	73 Attack Time

74 Cut-off Frequency	102 Controller 102
75 Controller 75	103 Controller 103
76 Controller 76	104 Controller 104
77 Controller 77	105 Controller 105
78 Controller 78	106 Controller 106
79 Controller 79	107 Controller 107
80 General Purpose 5	108 Controller 108
81 General Purpose 6	109 Controller 109
82 General Purpose 7	110 Controller 110
83 General Purpose 8	111 Controller 111
84 Portamento Control	112 Controller 112
85 Controller 85	113 Controller 113
86 Controller 86	114 Controller 114
87 Controller 87	115 Controller 115
88 High-Resolution Velocity Prefix	116 Controller 116
89 Controller 89	117 Controller 117
90 Controller 90	118 Controller 118
91 Effects 1 Depth	119 Controller 119
92 Effects 2 Depth	
93 Effects 3 Depth	Channel Mode Messages:
94 Effects 4 Depth	120 All Sound Off
95 Effects 5 Depth	121 Reset All Controllers
96 Data Increment	122 Local Control On/Off
97 Data Decrement	123 All Notes Off
98 NRPN LSB	124 Omni Mode Off (+ All Notes Off)
99 NRPN MSB	125 Omni Mode On (+ All Notes Off)
100 RPN LSB	126 Mono Mode On (+ Poly Off + All Notes Off)
101 RPN MSB	127 Poly Mode On (+ Mono Off + All Notes Off)

Non-Registered Parameter Numbers (NRPNs) (128~144)

128 Pitch-Bend Sensitivity	137 Master Pan
129 Fine Tune	138 Coarse Tune
130 Coarse Tune	139 Fine Tune
131 Channel Pressure	140 Chorus Modulation Rate
132 RPN Coarse	141 Chorus Modulation Depth
133 RPN Fine	142 Feedback
134 NRPN Coarse	143 Send to Reverb
135 NRPN Fine	144 Pitch Bend
136 Master Volume	

Registered Parameter Numbers (RPNs) (000~127)

00 Bank Select	41 Controller 41
01 Modulation	42 Pan LSB
02 Breath Control	43 Expression LSB
03 Controller 3	44 Controller 44
04 Foot Control	45 Controller 45
05 Portamento Time	46 Controller 46
06 Data Entry MSB	47 Controller 47
07 Channel Volume	48 General Purpose 1 LSB
08 Balance	49 General Purpose 2 LSB
09 Controller 9	50 General Purpose 3 LSB
10 Pan	51 General Purpose 4 LSB
11 Expression	52 Controller 52
12 Effects Controller 1	53 Controller 53
13 Effects Controller 2	54 Controller 54
14 Controller 14	55 Controller 55
15 Controller 15	56 Controller 56
16 General Purpose 1	57 Controller 57
17 General Purpose 2	58 Controller 58
18 General Purpose 3	59 Controller 59
19 General Purpose 4	60 Controller 60
20 Controller 20	61 Controller 61
21 Controller 21	62 Controller 62
22 Controller 22	63 Controller 63
23 Controller 23	64 Sustain Pedal
24 Controller 24	65 Portamento
25 Controller 25	66 Sostenuato
26 Controller 26	67 Soft Pedal
27 Controller 27	68 Legato Pedal
28 Controller 28	69 Hold 2
29 Controller 29	70 Sound Variation
30 Controller 30	71 Resonance
31 Controller 31	72 Release Time
32 Bank Select LSB	73 Attack Time
33 Modulation LSB	74 Cutoff Frequency
34 Breath Control LSB	75 Controller 75
35 Controller 35	76 Controller 76
36 Foot Control LSB	77 Controller 77
37 Portamento Time LSB	78 Controller 78
38 Data Entry LSB	79 Controller 79
39 Channel Volume LSB	80 General Purpose 5
40 Balance LSB	81 General Purpose 6

82 General Purpose 7	106 Controller 108
83 General Purpose 8	107 Controller 107
84 Portamento Control	108 Controller 108
85 Controller 85	109 Controller 109
86 Controller 86	110 Controller 110
87 Controller 87	111 Controller 111
88 High-Resolution Velocity Prefix	112 Controller 112
89 Controller 89	113 Controller 113
90 Controller 90	114 Controller 114
91 Effects 1 Depth	115 Controller 115
92 Effects 2 Depth	116 Controller 116
93 Effects 3 Depth	117 Controller 117
94 Effects 4 Depth	118 Controller 118
95 Effects 5 Depth	119 Controller 119
96 Data Increment	
97 Data Decrement	Channel Mode Messages:
98 NRPN LSB	120 All Sound Off
99 NRPN MSB	121 Reset All Controllers
100 RPN LSB	122 Local Control On/Off
101 RPN MSB	123 All Notes Off
102 Controller 102	124 Omni Mode Off (+ All Notes Off)
103 Controller 103	125 Omni Mode On (+ All Notes Off)
104 Controller 104	126 Mono Mode On (+ Poly Off, + All Notes Off)
105 Controller 105	127 Poly Mode On (+ Mono Off, + All Notes Off)

Non-Registered Parameter Numbers (NRPNs) (128~156)

128 Pitch-Bend Sensitivity	143 Send to Reverb
129 Fine Tune	144 Pitch Bend
130 Coarse Tune	145 Voice Recall
131 Channel Pressure	146 Toggle MIDI CC
132 RPN Coarse	147 MIDI Note
133 RPN Fine	148 Note On/Off Toggle
134 NRPN Coarse	149 MMC Command
135 NRPN Fine	150 Reverb Type, General MIDI
136 Master Volume	151 Reverb Time, General MIDI
137 Master Pan	152 Chorus Type, General MIDI
138 Coarse Tune	153 MIDI CC Value -
139 Fine Tune	154 MIDI CC Value +
140 Chorus Modulation Rate	155 Program -
141 Chorus Modulation Depth	156 Program +
142 Feedback	

プリセット

Code 49/61 の 12 のプリセットは、いくつかの DAW とプラグイン用にプリマッピングされています。

これらのプリセットを使用する際は、

- フェーダ、ボタン、エンコーダ、X/Y パッドは、プラグインに対しては、MIDI モードとして機能します。
- ボタンと X/Y パッドは、DAW に対しては、HID モードとして機能します。

注意：トランスポート・コントロールを DAW に対して使用する場合は、DAW 側で、Mackie Control または HUI コマンドを受信するように設定してください。

Preset	DAW	Plugin
1	General ASCII	General MIDI
2	Ableton™ Live	AIR Music Technology® Hybrid
3	Ableton™ Live	AIR Music Technology® Loom
4	Avid® Pro Tools®	AIR Music Technology® Hybrid
5	Avid® Pro Tools®	AIR Music Technology® Loom
6	Steinberg™ Cubase™	AIR Music Technology® Hybrid
7	Steinberg™ Cubase™	AIR Music Technology® Loom
8	Apple® Logic® Pro	AIR Music Technology® Hybrid
9	Apple® Logic® Pro	AIR Music Technology® Loom
10	Bitwig Studio®	AIR Music Technology® Hybrid
11	Bitwig Studio®	AIR Music Technology® Loom
12	Ableton™ Live	AIR Music Technology® Hybrid & Loom

各プリセットにおいて、パッドは、チャンネル 10 で MIDI ノートを送信します。ノートナンバーのアサインは General MIDI (GM) に準拠しています。

Pad	Drum	MIDI Note	Pad	Drum	MIDI Note
P1	Kick Drum	36 (C2)	P9	Pedal Hi-Hat	44 (Ab2)
P2	Side-Stick	37 (Db2)	P10	Low Tom	45 (A2)
P3	Snare Drum	38 (D2)	P11	Open Hi-Hat	46 (Bb2)
P4	Hand-Clap	39 (Eb2)	P12	Low Mid Tom	47 (B2)
P5	Electric Snare Drum	40 (E2)	P13	Hi Mid Tom	48 (C3)
P6	Low Floor Tom	41 (F2)	P14	Crash Cymbal 1	49 (Db3)
P7	Hi-Hat (closed)	42 (Gb2)	P15	High Tom	50 (D3)
P8	High Floor Tom	43 (G2)	P16	Ride Cymbal 1	51 (Eb3)

色

ボタン

ボタンは、アサインされた機能やノートなどによって最大 4 色で色分けすることができます。

0 Off	4 Magenta
1 Green	5 Red
2 Cyan	6 Yellow
3 Blue	7 White

パッド

パッドは、アサインされた機能やノートなどによって最大 4 色で色分けすることができます。

0 Off	7 Violet
1 Chartreuse	8 Magenta
2 Green	9 Rose
3 Aquamarine	10 Red
4 Cyan	11 Orange
5 Azure	12 Yellow
6 Blue	13 White

ペロシティカーブ

キーボード

ディスプレイ	番号	説明
VCrVC1	01	感度が低い設定です。低いペロシティを多用する際に便利です。
VCrVC2	02	中程度の感度設定です。通常の演奏であればこれが適しています。初期値。
VCrVC3	03	高感度設定です。高いペロシティを多用する際に便利です。
VCrVC4	04	リニア設定です。力とペロシティ値は比例します。
VCrVF1	05	ペロシティ 64 で固定です。
VCrVF2	06	ペロシティ 100 で固定です。
VCrVF3	07	ペロシティ 127 で固定です。

パッド

ディスプレイ	番号	説明
PCrVC1	01	感度が低い設定です。低いペロシティを多用する際に便利です。
PCrVC2	02	中程度の感度設定です。通常の演奏であればこれが適しています。初期値。
PCrVC3	03	高感度設定です。高いペロシティを多用する際に便利です。
PCrVC4	04	リニア設定です。力とペロシティ値は比例します。
PCrVF1	05	ペロシティ 64 で固定です。
PCrVF2	06	ペロシティ 100 で固定です。
PCrVF3	07	ペロシティ 127 で固定です。
PCrVS2	08	力によって 64 または 127 を送信します。
PCrVS3	09	力によって 64 、 100 または 127 を送信します。
PCrVS4	10	力によって 32 、 64 、 100 または 127 を送信します。

エンコーダ

ディスプレイ	番号	説明
ECrVOF	00	エンコーダを回すスピードにかかわらず回す方向に1ステップずつ値を変更します。
ECrVC2	01	遅い加速度カーブで、値を微調整する際に便利です。
ECrVC3	02	中感度のカーブで、初期状態です。
ECrVC4	03	速い加速度カーブで、値を大きく変更する場合に便利です。

X/Yパッド

ディスプレイ	番号	説明
TCrVF1	01	ベロシティ 64 固定です (初期状態)。
TCrVF2	02	ベロシティ 100 固定です。
TCrVF3	03	ベロシティ 127 固定です。
TCrVS2	04	ベロシティは 64 と 127 が交互に送信されます。
TCrVS3	05	三つ目のノートだけが 127 に、その他は 64 固定です。
TCrVS4	06	ベロシティは 100 と 127 が交互に送信されます。
TCrVS5	07	三つ目のノートだけが 127 に、その他は 100 固定です。
TCrVS6	08	64 ~ 127 の範囲で送信されます。
TCrVS7	09	100 ~ 127 の範囲で送信されます。
TCrVS8	10	1 ~ 127 の範囲で送信されます。・モードを抜けます。

技術仕様**Code 49**

- キーボード：** 49 鍵ベロシティ&アフタータッチ対応
オクターブシフトにより、10 オクターブにアクセス可
4 アサインابل・ゾーン
- パッド：** 16 ベロシティ対応パッド
マルチカラー・バックライト
- フェーダ：** 9 x 30mm アサインابل・フェーダ
4 バンク
- ボタン：** 9 x アサインابل・ボタン、マルチカラー・バックライト
4 バンク
- エンコーダ：** 8 x 360°ノブ
4 バンク
- X/Y パッド：** 55 x 55mm タッチセンサパッド
X（水平）・Y（垂直）の 2 軸
- ディスプレイ：** 85 x 25mm 液晶ディスプレイ
- 端子：** 1 x USB 端子
1 x 1/4" TS サステインペダル端子
1 x 1/4" TRS ボリューム（エクスプレッション）ペダル端子
1 x 5 ピン MIDI 入力端子
1 x 5 ピン MIDI 出力端子
1 x AC アダプタ端子
1 x ケンジントン・ロック
- 電源：** USB バスパワー
AC アダプタ（9V DC、1A、センタプラス・別売）
- サイズ：** 約 860 x 255 x 71mm
(W x D x H)
- 重量：** 約 4.5kg

Code 61

- キーボード：** 61 鍵ベロシティ&アフタータッチ対応
オクターブシフトにより、10 オクターブにアクセス可
4 アサイナブル・ゾーン
- パッド：** 16 ベロシティ対応パッド
マルチカラー・バックライト
- フェーダ：** 9 x 30mm アサイナブル・フェーダ
4 バンク
- ボタン：** 9 x アサイナブル・ボタン、マルチカラー・バックライト
4 バンク
- エンコーダ：** 8 x 360°ノブ
4 バンク
- X/Y パッド：** 55 x 55mm タッチセンサパッド
X（水平）・Y（垂直）の2軸
- ディスプレイ：** 85 x 25mm 液晶ディスプレイ
- 端子：** 1 x USB 端子
1 x 1/4" TS サスティンペダル端子
1 x 1/4" TRS ポリウム（エクスプレッション）ペダル端子
1 x 5 ピン MIDI 入力端子
1 x 5 ピン MIDI 出力端子
1 x AC アダプタ端子
1 x ケンジントン・ロック
- 電源：** USB バスパワー
AC アダプタ（9V DC、1A、センタプラス・別売）
- サイズ：** 約 1025 x 255 x 71mm
(W x D x H)
- 重量：** 約 5.2kg

商標およびライセンス

M-Audio および AIR Music Technology は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Mackie Control および HUI は、LOUD Technologies Inc. の商標または登録商標です。

Kensington および K & Lock ロゴは、ACCO Brands の登録商標です。

Albeton は Ableton AG の商標です。

Avid および Pro Tools は、米国およびその他の国々において、Avid Technology, Inc. の商標または登録商標です。

Cubase および Steinberg は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

Logic は、Apple Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Bitwig Studio は、米国およびその他の国々において、Bitwig GmbH の登録商標です。

その他のすべての製品名および会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

M-AUDIO®

inmusicbrands.jp/m-audio